

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 103-0022
住 所 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号
氏 名 三井不動産株式会社
代表取締役社長 菰田 正信 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	三井不動産株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 幸区堀川町72-1		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産賃貸業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		12,554 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ～ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	○当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

三井不動産グループ環境方針

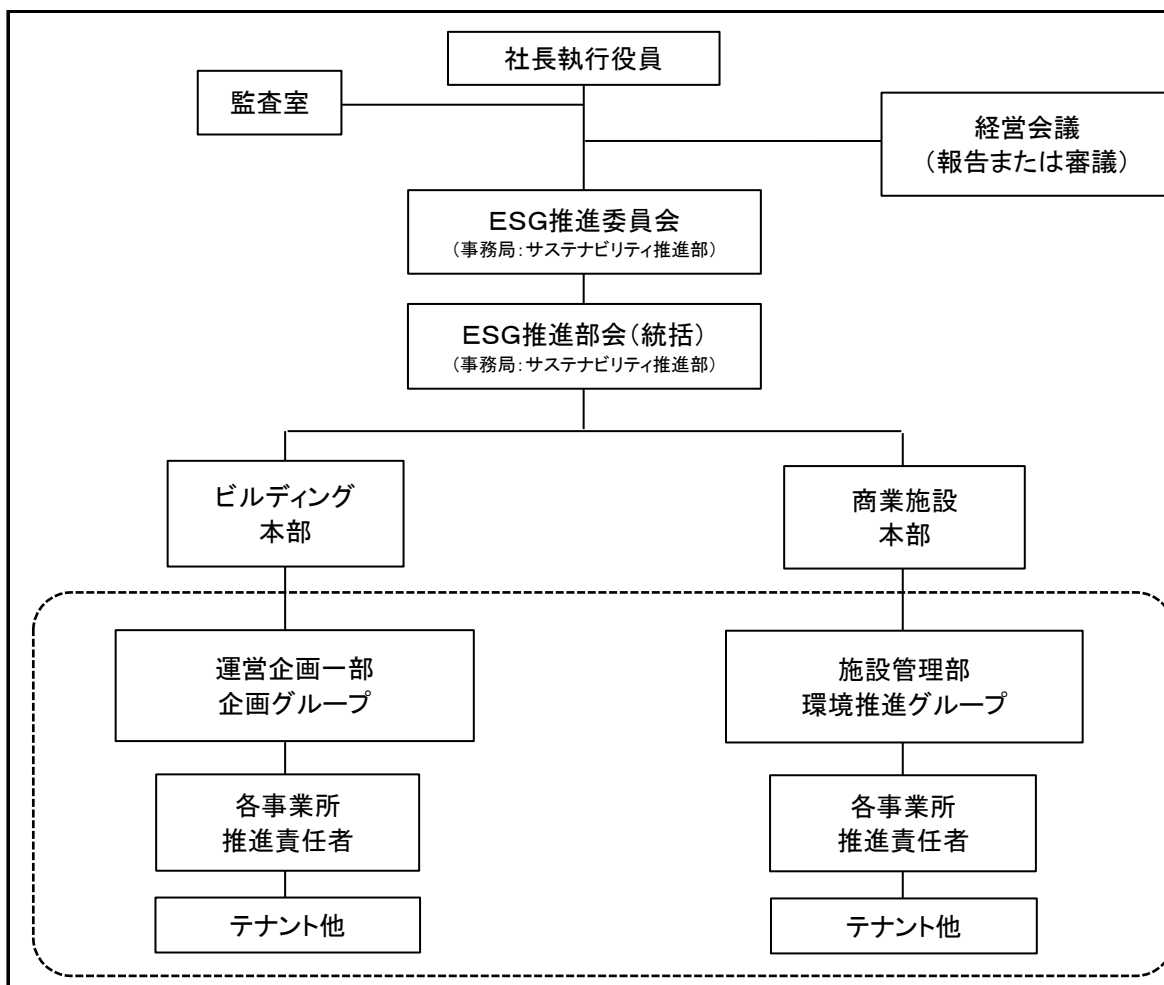
1. 環境効率性の向上と環境負荷の低減、省エネルギー・省資源と廃棄物削減、汚染の防止に努め、地球温暖化対策と循環型社会の形成をめざします。
2. 低炭素に加え、水環境・生物多様性の保全、分散・自立型エネルギーの導入などを幅広く、統合的に推進し、環境負荷の低減と安全・安心、快適性の向上の双方をめざします。
3. 顧客、地域、行政などコミュニティと連携・協力して、「環境との共生」に積極的に取り組み、持続的発展が可能なまちづくりと、実効性の高い環境施策を展開します。
4. スマートシティなど環境配慮型まちづくりを国内外で展開し、未来のまちづくりをリードする環境先進企業をめざします。
5. 環境関連の法規制の遵守はもとより、必要に応じ独自の基準を定めて、「環境との共生」を推進します。
6. 環境教育、啓発活動などにより、三井不動産グループ全従業員に環境方針の周知徹底と環境意識の向上を図ります。
7. 環境への取り組み状況など、必要な情報の開示に努め、広報活動などを通じて広く社会とコミュニケーションを図ります。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

ESG推進体制

ESG推進委員会（委員長：社長執行役員、事務局：サステナビリティ推進部）のもとに環境担当役員を部会長とする「ESG推進部会」を設置し、「グループ環境方針」に沿って部門別の年度目標を設定し、その進捗管理等を行っています。
その内の重要課題については、取締役会に報告されるほか、環境方針の対象となるグループ会社とともに環境への取り組みを計画的に推進しています。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準年度	2021	年度
目標年度	2024	年度
基準排出量	(実) 22,644 (調) 22,501 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標排出量	(実) 21,965 (調) 21,826 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量	(実) 679 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量 (実) 679 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量 (実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率	(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量	延床面積	
原単位の単位	t-CO ₂ /m ²	
基準年度の値	0.09983	
目標年度の値	0.09683	
削減率	3.0 %	%

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、基準年度排出量に対し原単位ベースで年平均1%、3年で3%削減を目標数値として設定した。
計画期間中における市内事業活動の大きな変更は現時点で予定していないが、変更があった場合でも一貫した目標となるように延床面積（稼働月考慮）を分母に用いた原単位を目標指数として設定した。
これまでも4-(1)に示す対策を実施してきたが、当該計画期間においても引き続き目標の達成に向けて4-(1)に示す措置の実施を推進する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

当社グループ全体で温室効果ガス（GHG）排出量のうち、SCOPE1+2においては2030年度までに46.2%削減（2019年度比）を目指します。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計 画	○主要設備等の保安全管理： 主要設備等の管理標準の定期的見直しと改善を実施する。 ○空気調和設備の効率管理： 熱源稼働台数の適正管理による高効率運用を実施する。 ○空調・照明設備の保安全管理： 保守点検計画に基づく定期的な保守点検を実施する。 ○照明設備の更新における措置 照明器具更新時にLED照明を採用する。 ○空気調和の管理： 外気導入量、共用部における温度設定の適正化を図る。 ○エネルギーの管理： エネルギー使用量推移を定期確認する。またBEMSを活用し設備の高効率運用を図る。	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

【パレール三井】 ・照明点灯スケジュールの適正化 ・バックヤード照明の間引き点灯 ・空調外気導入量、共用部における温度設定の適正化 ・空調、給排気ファン運転スケジュールの適正化 ・局所給湯器の運転スケジュール適正化 ・局所給湯器の温度設定適正化 ・夏季省エネ対策 (5月から9月末まで男子トイレ洗面給湯と便座ヒーターOFF) 【ラゾーナ川崎プラザにおいて下記の削減対策を実施した。】 ○主要設備等の管理標準の定期的見直し改善 ○外調機インバータのCO2濃度制御による外気導入量調整 ○外部照明の季節スケジュール運用、外光利用による一部消灯運用 ○熱源補機ポンプのインバータ制御 ○館内共用部、バックヤードなどの照明LED化
--

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	現状では定量化できる取り組みはない。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(ラゾーナ川崎プラザ) ○リサイクルボックスを設置して常時エコキャンペーンの実施 ○衣料のリサイクルキャンペーン実施、年2回 ○ライトダウンキャンペーンに参加 ○施設スタッフのマイカー通勤を禁止し、公共交通機関のみの利用を促進 ○インフォメーションスタッフの制服にエコ素材採用
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	22,644	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

12,554	K L
--------	-----

ウ 事業所の数

9

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ラゾーナ川崎プラザ	幸区堀川町72-1	18,051 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ららテラス武蔵小杉	中原区新丸子東3丁目1302番	1,767 t-CO ₂
新川崎スクエア	幸区鹿島田1丁目1番3号	1,737 t-CO ₂
パレール三井ビルディング	川崎区東田町8番地	1,019 t-CO ₂
		t-CO ₂